

するような、もの静かな宿坊の夜です。雨も大したことなく一日無事に過ごせたことに感謝しながら就寝する。

第三日目、六時から朝のお勤めに参列し金剛福寺住職様よりお寺の由来等を聞き、玄関で記念撮影をすませ、昨日の雨もあがつて晴れやかな朝、七時二十分般若心経を唱えながら、土佐の国で最後の、三十番霊場延光寺へ向けて出発、延光寺をすぎ、国道五十六号線を伊予の国へ入り、四十番霊場観自在寺へ。左てに足摺宇和海国立公園を見ながら途中、宇和島で昼食をとりサンゴ細工を見て沢山のお土産を買い込み、四十一番霊場龍光寺へ。四十二番霊場仏本寺より歯長峠を越えて、今回最後の四十三番霊場光明寺へつく。お参りを終えバスにかえりホット一息ついたのも自分ひとりではなかつたのではないか。二泊三日で二十ヶ寺、無事巡拝を終え、次にお大師様が野宿修行された所と言われる橋の下にある番外霊場十夜ヶ橋へお参りし、川内 IC より松山自動車道へ上り、生から青年期までのビデオを見てあらためてお大師さまの偉大さを再認識した次第です。

参加された皆さんの中には前もって写経し各霊場へ納経される方、霊場の名前を覚えている方、一心に手を合わせる方等々、皆さんそれぞれ願いをこめての巡拝、ものめずらしさにカメラのシャッターをきく自分が恥ずかしいかぎりでした。

祖父を語る

姫路 谷本 泉

吾が家の、庭に育ちし、若桜。

今日植え替える、皇國の庭。

これは私が昭和十九年（一九四四）四月、帝国陸軍生徒として入校するに当たり、餓に読んでくれた祖父の一首である。元治元年（一八六四）生れ、明治十八十九年のいわゆる台湾征伐には有栖川宮熾仁親王殿下のもとに従軍、勲章と從軍章を押し抱いては皇恩の広きを感じていた、いわば忠君愛國の権化のような祖父であった。



一日参り

阪神大震災の為一年延期していた高野山参拝を、三月十四・十五日と一泊二日バス一台でお参り致しました。途中、先年完成した関西新空港とお大師さまのお

高野山参拝

昭和二十年八月十五日、日本、連合国に無條件降伏の報に接した祖父の心境はいかばかりであつたろうか？「日本またか！」と一言低く呟いて寝込んでしまつたという。

昭和二十年九月九日、享年八十三歳。岡山県邑久郡裳掛村福谷の疎開さきであつた。

昭和二十年八月十五日、日本、連合国に無條件降伏の報に接した祖父の心境はいかばかりであつたろうか？「日本またか！」と一言低く呟いて寝込んでしまつたという。

本の不敗を信じて疑わなかつた。辞するに及び、軍装を整え、不動の姿勢、指先がピリリッと振える陸軍式敬礼、しかしこれが今生の別れとなつた。

近代日本の黎明期より、幾多の戦役に

も不敗の日本と共に生きてきた祖父、戦局がいかに不利になろうといえども、日

強い風に大きな杉が唸り声をあげて、枯れた小枝が頭上に降りそそいできました。

人間のともすれば驕れたがる心を吹きとばし、敬けんな気持を起こしてくれる大

自然の力を感じました。

高野山では平成の大修理という事で、色々な建物に覆が掛けられて工事が進められていました。十月には落慶を記念して大法要が盛大に執行なわれました。

母様のおられた寺、慈尊院へ寄りました。

現代技術の粋を集めた新空港と、日本を代表する伝統的建築群を擁する高野山。

対象的なものを一度に見る機会に恵まれました。感想として空港内では戸惑うばかりでしたが、高野山では心が自然と和む様に思えました。高野山の三月はまだ寒くて雪も残り、奥之院にお参りする時、

が、見事な五重塔がよみがえっていました。

重塔が一層目から倒壊してしまいましたが、見事な五重塔がよみがえっていました。

位牌堂完成

例年一月十五日に行なつてますお砂踏み並びに大護摩祈願は、本堂修復のため踏み石を取り除けており中止をいたしました。

大護摩祈願中止

新墓地



霧島ツツジを求む

本堂裏山の斜面の一部に霧島を植えたく思っています。皆さんの家に余裕の霧島があれば分けていただけませんか、ご連絡下さい。

密教婦人会

(○会長、○副会長、△会計)

尾虫	前間	下高渡庄	大敷
張泊口	下高渡庄	大敷	東井
今吉君子	大敷	東井	川野健郎
吉田房子	東井	川野澄男	坂口鶴一
	助内田	松井金次郎	藤本太郎
	内田	森景智司	松井立男
	田	千種司郎	中島達男
	助市守	久本異	木村功
	助久本	黒川根俊雄	心光正美
	助黒川	山田克己	重
	助山田	内田熱一郎	藤本篤一
	助内田	山根俊雄	川野
	助山根	久木利司	川野澄男
	助久木	種草立司	坂口鶴一
	助種草	山田克己	藤本太郎
	助山田	内田熱一郎	松井立男
	助内田	山根俊雄	中島達男
	助山根	久木利司	木村功
	助久木	種草立司	心光正美
	助種草	山田克己	重
	助山田	内田熱一郎	藤本篤一
	助内田	山根俊雄	川野
	助山根	久木利司	川野澄男
	助久木	種草立司	坂口鶴一
	助種草	山田克己	藤本太郎
	助山田	内田熱一郎	松井立男
	助内田	山根俊雄	中島達男
	助山根	久木利司	木村功
	助久木	種草立司	心光正美
	助種草	山田克己	重
	助山田	内田熱一郎	藤本篤一
	助内田	山根俊雄	川野
	助山根	久木利司	川野澄男
	助久木	種草立司	坂口鶴一
	助種草	山田克己	藤本太郎
	助山田	内田熱一郎	松井立男
	助内田	山根俊雄	中島達男
	助山根	久木利司	木村功
	助久木	種草立司	心光正美
	助種草	山田克己	重
	助山田	内田熱一郎	藤本篤一
	助内田	山根俊雄	川野
	助山根	久木利司	川野澄男
	助久木	種草立司	坂口鶴一
	助種草	山田克己	藤本太郎
	助山田	内田熱一郎	松井立男
	助内田	山根俊雄	中島達男
	助山根	久木利司	木村功
	助久木	種草立司	心光正美
	助種草	山田克己	重
	助山田	内田熱一郎	藤本篤一
	助内田	山根俊雄	川野
	助山根	久木利司	川野澄男
	助久木	種草立司	坂口鶴一
	助種草	山田克己	藤本太郎
	助山田	内田熱一郎	松井立男
	助内田	山根俊雄	中島達男
	助山根	久木利司	木村功
	助久木	種草立司	心光正美
	助種草	山田克己	重
	助山田	内田熱一郎	藤本篤一
	助内田	山根俊雄	川野
	助山根	久木利司	川野澄男
	助久木	種草立司	坂口鶴一
	助種草	山田克己	藤本太郎
	助山田	内田熱一郎	松井立男
	助内田	山根俊雄	中島達男
	助山根	久木利司	木村功
	助久木	種草立司	心光正美
	助種草	山田克己	重
	助山田	内田熱一郎	藤本篤一
	助内田	山根俊雄	川野
	助山根	久木利司	川野澄男
	助久木	種草立司	坂口鶴一
	助種草	山田克己	藤本太郎
	助山田	内田熱一郎	松井立男
	助内田	山根俊雄	中島達男
	助山根	久木利司	木村功
	助久木	種草立司	心光正美
	助種草	山田克己	重
	助山田	内田熱一郎	藤本篤一
	助内田	山根俊雄	川野
	助山根	久木利司	川野澄男
	助久木	種草立司	坂口鶴一
	助種草	山田克己	藤本太郎
	助山田	内田熱一郎	松井立男
	助内田	山根俊雄	中島達男
	助山根	久木利司	木村功
	助久木	種草立司	心光正美
	助種草	山田克己	重
	助山田	内田熱一郎	藤本篤一
	助内田	山根俊雄	川野
	助山根	久木利司	川野澄男
	助久木	種草立司	坂口鶴一
	助種草	山田克己	藤本太郎
	助山田	内田熱一郎	松井立男
	助内田	山根俊雄	中島達男
	助山根	久木利司	木村功
	助久木	種草立司	心光正美
	助種草	山田克己	重
	助山田	内田熱一郎	藤本篤一
	助内田	山根俊雄	川野
	助山根	久木利司	川野澄男
	助久木	種草立司	坂口鶴一
	助種草	山田克己	藤本太郎
	助山田	内田熱一郎	松井立男
	助内田	山根俊雄	中島達男
	助山根	久木利司	木村功
	助久木	種草立司	心光正美
	助種草	山田克己	重
	助山田	内田熱一郎	藤本篤一
	助内田	山根俊雄	川野
	助山根	久木利司	川野澄男
	助久木	種草立司	坂口鶴一
	助種草	山田克己	藤本太郎
	助山田	内田熱一郎	松井立男
	助内田	山根俊雄	中島達男
	助山根	久木利司	木村功
	助久木	種草立司	心光正美
	助種草	山田克己	重
	助山田	内田熱一郎	藤本篤一
	助内田	山根俊雄	川野
	助山根	久木利司	川野澄男
	助久木	種草立司	坂口鶴一
	助種草	山田克己	藤本太郎
	助山田	内田熱一郎	松井立男
	助内田	山根俊雄	中島達男
	助山根	久木利司	木村功
	助久木	種草立司	心光正美
	助種草	山田克己	重
	助山田	内田熱一郎	藤本篤一
	助内田	山根俊雄	川野
	助山根	久木利司	川野澄男
	助久木	種草立司	坂口鶴一
	助種草	山田克己	藤本太郎
	助山田	内田熱一郎	松井立男
	助内田	山根俊雄	中島達男
	助山根	久木利司	木村功
	助久木	種草立司	心光正美
	助種草	山田克己	重
	助山田	内田熱一郎	藤本篤一
	助内田	山根俊雄	川野
	助山根	久木利司	川野澄男
	助久木	種草立司	坂口鶴一
	助種草	山田克己	藤本太郎
	助山田	内田熱一郎	松井立男
	助内田	山根俊雄	中島達男
	助山根	久木利司	木村功
	助久木	種草立司	心光正美
	助種草	山田克己	重
	助山田	内田熱一郎	藤本篤一
	助内田	山根俊雄	川野
	助山根	久木利司	川野澄男
	助久木	種草立司	坂口鶴一
	助種草	山田克己	藤本太郎
	助山田	内田熱一郎	松井立男
	助内田	山根俊雄	中島達男
	助山根</td		